



2009年5月29日

プレスリリース

株式会社 SUMCO

「事業構造再編プラン骨子」について

当社は、2010年度以降の黒字化、より強靱な企業体質を構築し、さらなる持続的成長を企図して、事業構造再編プラン骨子を策定しましたのでご案内いたします。

I：小径ウェーハ生産体制の再編

1. 市場規模の認識

- ① 200mmの市場規模は、20～30%縮小し、月間400～450万枚と想定する。
- ② 150mm以下についても、30%程度の市場規模縮小を見ておく必要があると認識する。

2. 当社の生産体制

- ① 200mm以下の小径ウェーハの生産能力を、30%を目処に引き下げる。
- ② 国内外を対象として、競争力のある基地に生産を集約する。不要設備は廃却する。

3. 再編に伴う損失

- ① 損失は120から150億円程度になると想定している。
- ② 2009年は、その内70か80%程度と想定している。

4. 要員

- ① この再編に伴い、削減する要員については、人材の多機能化等により吸収することに努める。

II：ソーラーウェーハ事業の強化

1. ソーラー事業の競争力強化に経営資源を投入する。

- ① 現在の伊万里工場の多結晶事業を、総力を挙げて強化する。
- ② 技術開発、コスト競争力強化、次への展開諸施策に取り組む体制を構築する。
- ③ 単結晶ソーラーウェーハを商品ラインアップに加え、積極的に展開する。
- ④ 今後は、多結晶+単結晶の両軸で事業を展開し、結晶系の需要拡大に対し、多面的に競争力を引き上げて対応する。

III：その他

1. 300mm設備の償却を促進

- ① 本年度の経常利益への影響額は、第1四半期43億円、上期計100億円、年間では270億円相当と想定する。

2. 間接費用のさらなる圧縮

3. 新技術開発棟における、次世代対応技術の本格的な戦力化を図る。

以上

<本件に関する問合せ先>

株式会社SUMCO 広報・IR室

TEL：03-5444-3915